

文化財建造物関係者に防火指導を実施しました。

【甲府地区消防本部予防課査察企画係】

令和元年10月31日未明に、沖縄県那覇市の世界遺産である首里城公園で火災が発生し、首里城正殿等に大きな損害を受けました。現在、関係当局により出火原因の究明が行われております。



今年度は、4月にフランスのパリにあります世界遺産であるノートルダム大聖堂でも火災が発生しており、先人から継承してきた大切な歴史的建造物を焼失したことにより、多くの人々が文化財を後世に引き渡すことの重要性を感じているなかでの、火災発生となりました。

当消防本部は、これらの火災を受けて5月に実施した「文化財特別査察」に引き続き、管内の文化財建造物の関係者に対して、予防課員が訪問し火気の管理・建物の設備に対する再点検等、防火対策に関する「防火指導」（注意喚起）を行いました。（11月1日・5日）

全国的に「**ひとつずつ いいね！で確認 火の用心**」の統一防火標語で、11月9日から11月15日までの7日間、「秋の火災予防運動」を展開いたします。これから空気が乾燥し、火災の発生しやすい時季となりますので、より一層の火災予防対策への取り組みをお願いいたします。

